

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一級河川江の川水系西城川測量設計地質調査業務委託(河川改修・交付金)(荒神田橋)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング 名				Bor. No. 1				調査位置		庄原市本町						北 緯		34° 51′ 55.147″					
発 注 機 関				広島県北部建設事務所						調査期間		令和元年 11月 11日 ~ 令和元年 11月 13日						東 経		133° 02′ 2.268″			
調 査 業 者 名								主任技師				現 代 人 場				コ 鑑 定 者				ボーリング 責 任 者			
孔 口 標 高		T. P. 246.10m		180° 上下 90° 0°	180° 方位 270°西 0°東 90°南	地盤勾配 鉛直 90° 23°	使用機種	試 錐 機		D-1B													
総 削 孔 長		9.00m						エンジン		NFD-12				ポン プ		BG-3C							

標 尺	標 高	深 度	現場土質名 (模様)	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 質 稠 度	地 質 時 代 名	地 質 記 号	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試験採取		室内位置試験	削 孔 月 日
											深度－N値図					N値	深 度 (m)	100mmごとの 打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)		
1			礫混りシルト質砂		暗褐色	rd1		埋土	シルト、細砂主体、低含水。φ2～30mmの角礫、φ50mmの円礫混入。表層40cmは軽く、腐植物、木根多含、Gl=0.4～1.0mm間は縫質。Gl=1.65～2.10mm間は薄片を縫質。	11.12 1.00	0	1.15	2	1	1	4	450	1.15	PI-1	⊖	物理			
2	244.00	2.10	主石混り礫混の砂		暗灰	rd2		沖積層	細砂主体、φ2～40mmの角礫混入。掘進中コアにはならない。L=5～10cmの主石に当たる。	11.12 1.60	3	1.60	2	1	1	5	360	1.60	現場透水試験		物理	2.00 k=3.41F/cm/s		
3	243.60	2.50	シルト質砂		淡灰～暗灰	rd2		沖積層	基質はシルト～細砂、軟質な泥岩風化層を伴う。含水中位。	11.12 2.15	4	2.15	3	1	1	5	360	2.15			物理	2.10		
4	242.65	3.45									9	3.15	2	3	4	9	300	3.15	PI-3	⊖	物理			
5			砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5		備北層群	第三紀層(備北層群)の泥岩。砂岩層を不規則に挟む。上層部砂質となる。脆い岩片状～30cm柱状コア。深度に伴い硬質となるが、手で割れる程度。白色の貝化石および石灰岩の薄層を斑状～脈状に挟む。石灰岩は全般的に硬質。 岩盤区分D～CL。		150	4.10	50			50	100	4.10	CI-4	⊕	圧縮	11.12		
6											60	5.15	17	6	27	50	250	5.15						
7	238.90	7.20									250	6.15	50			50	60	6.15						
8			砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5			白色の貝化石および石灰岩の薄層を斑状～脈状に挟む。石灰岩は全般的に硬質。 10～40cm柱状コア。全般的にハンマーで落音発し、割れる程度。 Gl=1.2～8.1m付近は石灰岩質。 岩盤区分CL～CM。		188	7.15	50			50	80	7.15						
9	237.10	9.00									1500	8.00	50	10		50	10	8.00						
											375	9.00	50	40		50	40	9.00				11.13		